

2024年11月15日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ

LGBTQ への取組評価「PRIDE 指標」における最高評価「ゴールド」受賞について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長 ^{かめざわ ひろのり} 亀澤 宏規、以下 MUFG）は、今般、一般社団法人 work with Pride による LGBTQ（性的マイノリティ）に関する取り組みを評価する「PRIDE 指標」において、最高評価の「ゴールド」を受賞^[1]しました。



「PRIDE 指標」は、LGBTQ+など性的マイノリティが働きやすい職場づくりを日本で実現するために work with Pride が 2016 年に策定した日本で初めてとなる LGBTQ+に関する企業・団体などの取り組みの評価指標です。Policy（行動宣言）、Representation（当事者コミュニティ）、Inspiration（啓発活動）、Development（人事制度・プログラム）、Engagement/Empowerment（社会貢献・渉外活動）の 5 つの指標で構成されており、各指標内で指定の要件を満たしていれば点数が付与され、点数により、ゴールド、シルバー、ブロンズとして企業・団体が認定されます。

MUFG では、性的指向・性自認などにかかわらず、誰もが自分らしく活躍できる職場の実現をめざし、2016 年度以降、差別禁止方針の明示や社員向け研修の継続的な実施、「同性パートナーシップ認定制度」の導入などに取り組んでまいりました。2024 年度は、4 月の東京レインボープライドパレードへの参画や、6 月の「PRIDE 月間^[2]」における LGBTQ への理解促進を目的とした記事の社内展開など、取り組みを継続して実施しました。このような取り組みが評価され、最高評価「ゴールド」の受賞に至りました。ゴールド受賞は 6 回目 5 年連続の受賞となります。

MUFG は、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン（DEI）の推進を重要な経営課題の一つとして位置付け、ジェンダー、障がい、国籍、人種、年齢、性的指向など、多様な属性や価値観を持つ社員一人ひとりが公平・公正な成長機会を得ながら自身の能力を最大限に発揮できる組織・職場環境づくりに取り組んでいます。

社員一人ひとりが互いの違いや持ち味を認め合いながら新しい価値を創造し、全てのステークホルダーが持続可能な未来、新たなステージへと進むチカラとなるべく、DEI 推進に全力で取り組みます。

[1] 「ゴールド」の受賞は、MUFG およびグループ 7 社（株式会社三菱 UFJ 銀行、三菱 UFJ 信託銀行株式会社、三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社、三菱 UFJ ニコス株式会社、MUS ビジネスサービス株式会社、MUS 情報システム株式会社、三菱 UFJ インフォメーションテクノロジー株式会社）における取り組みに対し、評価を得ました。

[2] LGBTQ などの性的マイノリティの当事者およびコミュニティの権利、平等、認知拡大のための啓発活動の取り組みを実施する期間で、当社においてもこの PRIDE 月間を祝う取り組みを実施しました。

以 上